

3年度の事業計画・収支決算など承認

令和4年度 第47回定時総会を開催

日本内燃力発電設備協会（平野正樹会長）では令和4年6月3日（金）15時～16時頃、東京・下目黒のホテル雅叙園東京の2階「夢扇の間」で、第47回定時総会を開催しました。総会では、はじめに平野正樹会長が開会あいさつを述べました。

続いて、3つの議案の審議に入り、令和3年度の事業報告・収支決算のほか、2名の理事交替に伴う役員選任の3点について、正会員数114名に対し会場出席者25名が審議を行い、委任状等71名を加えた96名で採決し、原案どおり承認しました。

その後、当協会事務局からの3つの報告事項として、令和4年度の事業計画・収支予算のほか、民法に定める公益法人制度の抜本的改革（2000年～08年実施）を受けて、当協会が策定した「公益の目的のための支出計画」の実施状況の3点について、事務局が説明し、閉会しました。



平野 正樹 会長の開会あいさつ

日本内燃力発電設備協会の会長の平野正樹です。本日はご多忙の中、第47回定時総会にご出席賜り、誠に有り難うございます。また、会員の皆様には、平素より当協会の運営及び事業活動に対しご協力をいただきまして、有り難うございます。重ねて篤くお礼申し上げます。

はじめにこの場をお借りして、当協会の近況を簡単にご報告申し上げます。昨年度は新型コロナウイルス感染症による事業活動への影響が懸念されましたが、当協会の主要事業であります製品認証事業、専門技術者養成事業をはじめ、予定された事業をほぼ計画どおり実施することができました。決算におきましても、黒字を出すことができました。これもひとえに会員各位のご協力の賜物と深く感謝いたします。

今年度におきましても、会員の皆様のご意見やご要望を拝聴しながら、会員サービスの充実や効率的な事業運営に取り組んで参る所存でございますので、引き続き会員の皆様におかれましては、当協会の事業活動に対しご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

昨今、企業を取り巻く事業環境が大きく変化するとともに、不透明化しており、会員の皆様におかれましても、困難な課題に直面されていらっしゃるものと推察いたします。そのような事業環境の中にあっても、非常時において安全確保のための電源を確保することや、企業のBCP（事業継続計画）の活動を支援することは必要不可欠であります。これからも変わることのない会員の皆様及び当協会の重要な役割であると考えております。

会員の皆様がいろいろな課題を乗り越え、ますます発展されることを心よりお祈りし、私の開会あいさつといたします。